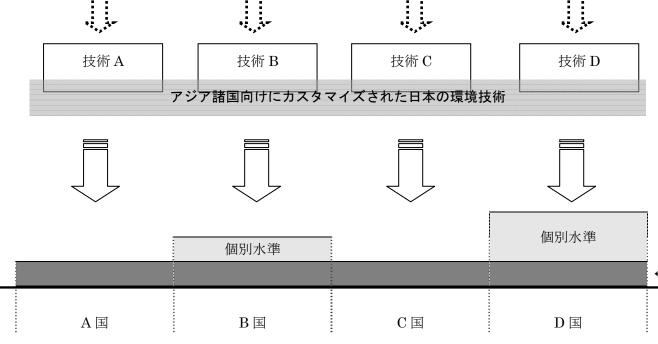
日本の環境対策技術のアジア標準化のイメージ

法規制・制度の整備、技術開発・普及、組織整備・人材育成のパッケージ

<日本の環境技術の普及手法例>

- 環境装置の型式認定、性能に関する品質保証、ラベリング等
- EIA 等の審査時に使用する技術ガイドライン



各国での多少の違いはあるものの、共通 部分はアジア標準となる可能性

- ←各国の環境管理水準を満足するため の環境技術
 - 現在は共通の環境管理水準は存在しないが、将来的にアジア環境共同体を目指す上では必要となる
 - 規制・技術・人材のパッケージを導入 することで管理水準の底上げを目指す

← (アジア地域の共通環境管理水準)

アジアの国々